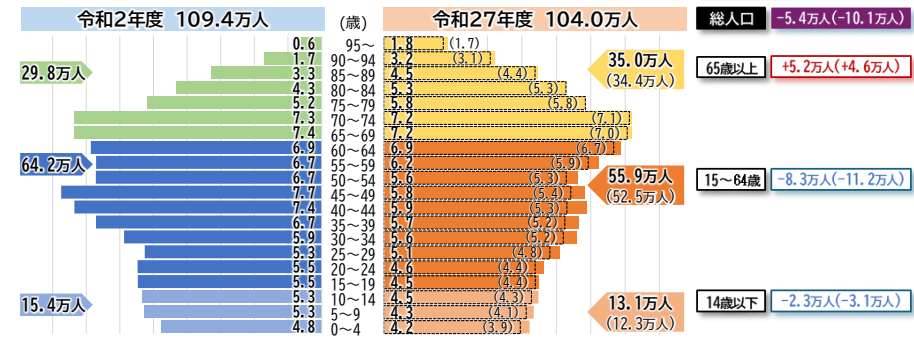


- 都市交通マスタープランは、学識・交通事業者・経済界・国・県・関係市町村等からなる熊本都市圏総合交通計画協議会が、熊本都市圏(5市6町1村)における将来の望ましい交通体系の実現に向けて策定する中長期的かつ広域的な将来ビジョンであり、今年度中の改定を予定
- 本市は、本マスタープランを踏まえ、次年度以降に地域公共交通計画及び道路整備プログラムの改定を行い具体的な事業等を位置づける予定

1 都市圏交通の現状と課題

(1) 都市圏人口の動向

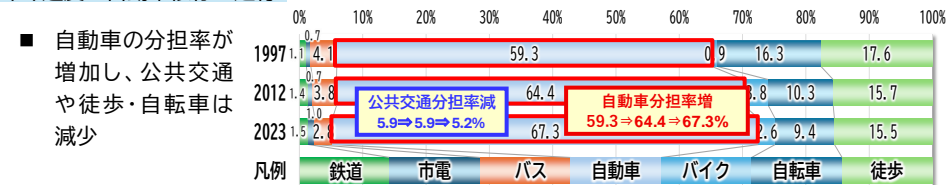
- 都市交通マスタープランの目標年次である令和27年(2045年)には、都市圏の人口は約5.4万人減少することが予測されている



※()内及び△は、令和27年度は国立社会保障・人口問題研究所[日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計]の公表値

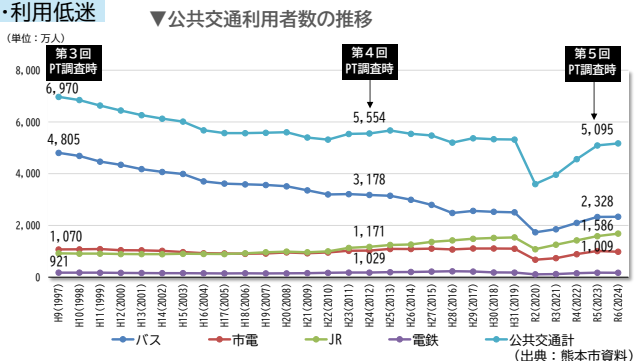
(2) 過度な自動車依存の進行

▼代表交通手段分担率の変化



(3) 公共交通のサービスの低下・利用低迷

- バス運転士数は過去8年で約2割減少
- 基幹公共交通8軸では、バスの分担率が減少し、ピーク時の自動車トリップ数が増加傾向であり、路線バスのサービス低下に繋がっている



(4) 都市圏交通の課題

- 都市圏交通の主な課題としては、「慢性化する交通渋滞」「公共交通のサービス低下・利用低迷」「過度な自動車依存の進行」「都市圏北東部の急速な開発」「広域交通の増加」があげられる
- 公共交通は負のスパイラルに陥っており、このままでは、住民生活の質は著しく低下し、都市活力そのものが失われかねない

2 将来交通計画

(1) 都市交通の将来像

都市圏の成長と共に、公共交通の利便性と利用を高めて渋滞を減らし、誰もが移動しやすいまちへ

(2) 計画の目標

- 都市圏の交通課題に対応するため、公共交通の利用を2倍に、交通渋滞の半減などを目標とする
- 自動車やバスの「流れ」を良くし、公共交通への「転換」を促し、交通を「分散」させる取組を公共交通と道路の両輪で進める

(3) 計画策定の方針

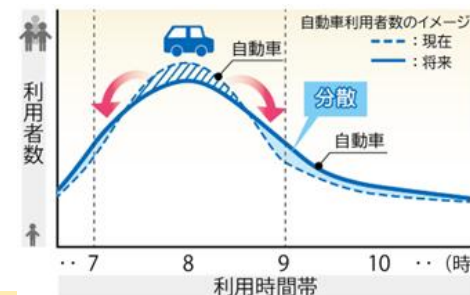
- 公共交通
 - 機能強化
 - 結節強化
 - 連携強化
 - 土地利用との連携
 - 持続可能な公共交通の確保

▼道路

- 交通の円滑化
- 拠点間の連携強化
- 都市間の連絡強化

(4) バストミックスの強化方針

- 地域ごとの交通特性に応じ公共交通と自動車交通を適切に選択するバストミックスに関し、時間帯に応じた公共交通と自動車のスマートな交通手段の選択も推進



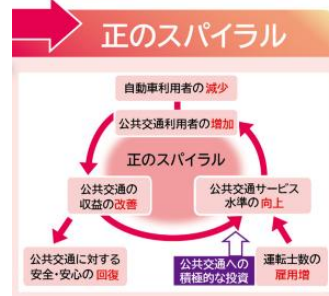
(5) 主な提案施策(詳細は次ページ)

【公共交通施策】 基幹公共交通軸の8方面を基本とし、阿蘇くまもと空港アクセス鉄道、豊肥本線の機能強化、市電延伸・増便や増結(3両編成導入)・豊肥本線との結節強化、公共交通への投資による輸送力の強化等を位置づけ

【道路施策】 2環状11放射の骨格幹線軸を基本とし、中九州横断道路、熊本西環状道路(砂原工区)、都市圏3連絡道路等の高規格道路による都市間の連携強化、未着手の都市計画道路や交差点改良、時差出勤等を位置づけ

(6) 提案施策に期待される効果

- 負のスパイラルから正のスパイラルへと転換させることで、誰もが移動しやすいまちへと繋がる



(7) 関係者一体となった計画の推進

- 各主体で取組の方向性を共有し、一体となって計画を推進していく



熊本都市圏都市交通マスタープランの検討状況について

■公共交通網計画図

土地利用等

- 中心商業業務市街地
- 市街地
- 農業ゾーン
- 自然環境ゾーン

拠点

- 広域総合都市拠点
- 都市拠点
- 地域拠点

工業・流通業務地

- 工業地
- 流通業務地

道路網

- 高速道路
- 国道
- 主要地方道
- 一般県道
- その他市町村道

鉄軌道

- 九州新幹線
- 在来線
- 熊本市電
- 熊本電鉄
- 交通拠点

機能強化

- 鉄道 既設
- 鉄道 新設
- 軌道 既設
- 軌道 新設
- バス 既設
- バス 新設

結節強化

- 結節強化

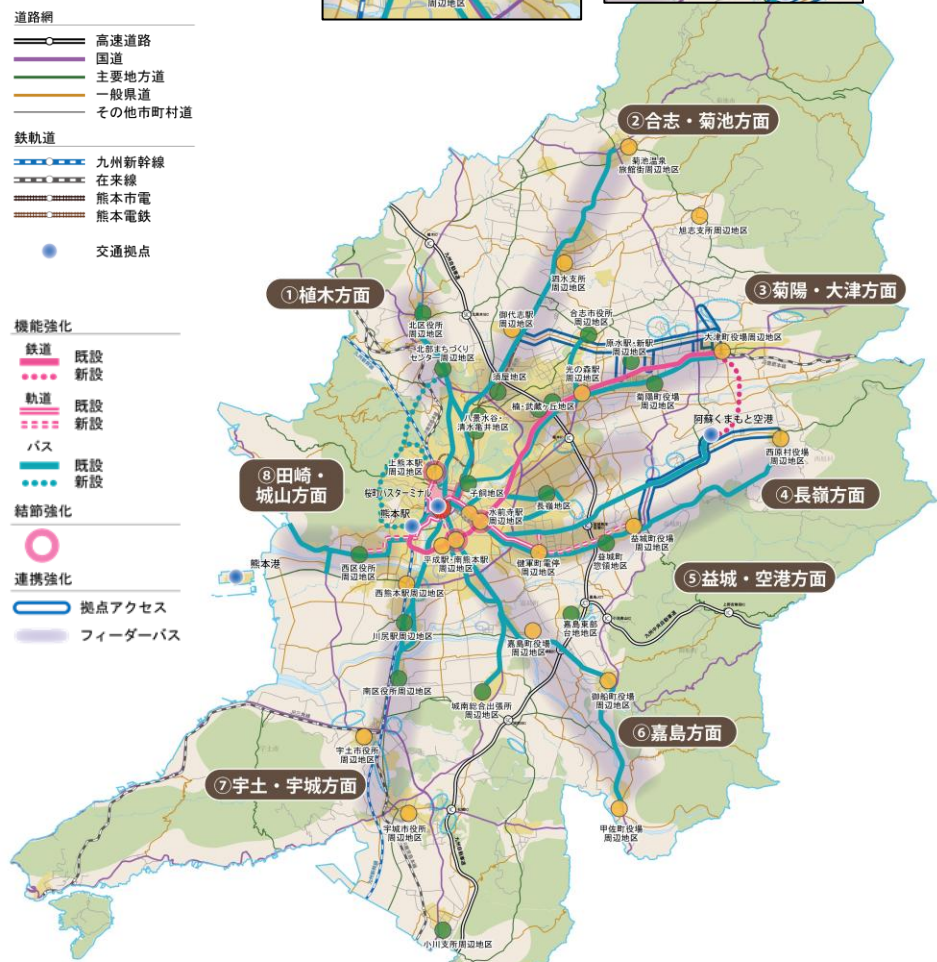
連携強化

- 拠点アクセス
- フィーダーバス

■熊本市中心部



■セミン周辺



■主な提案施策

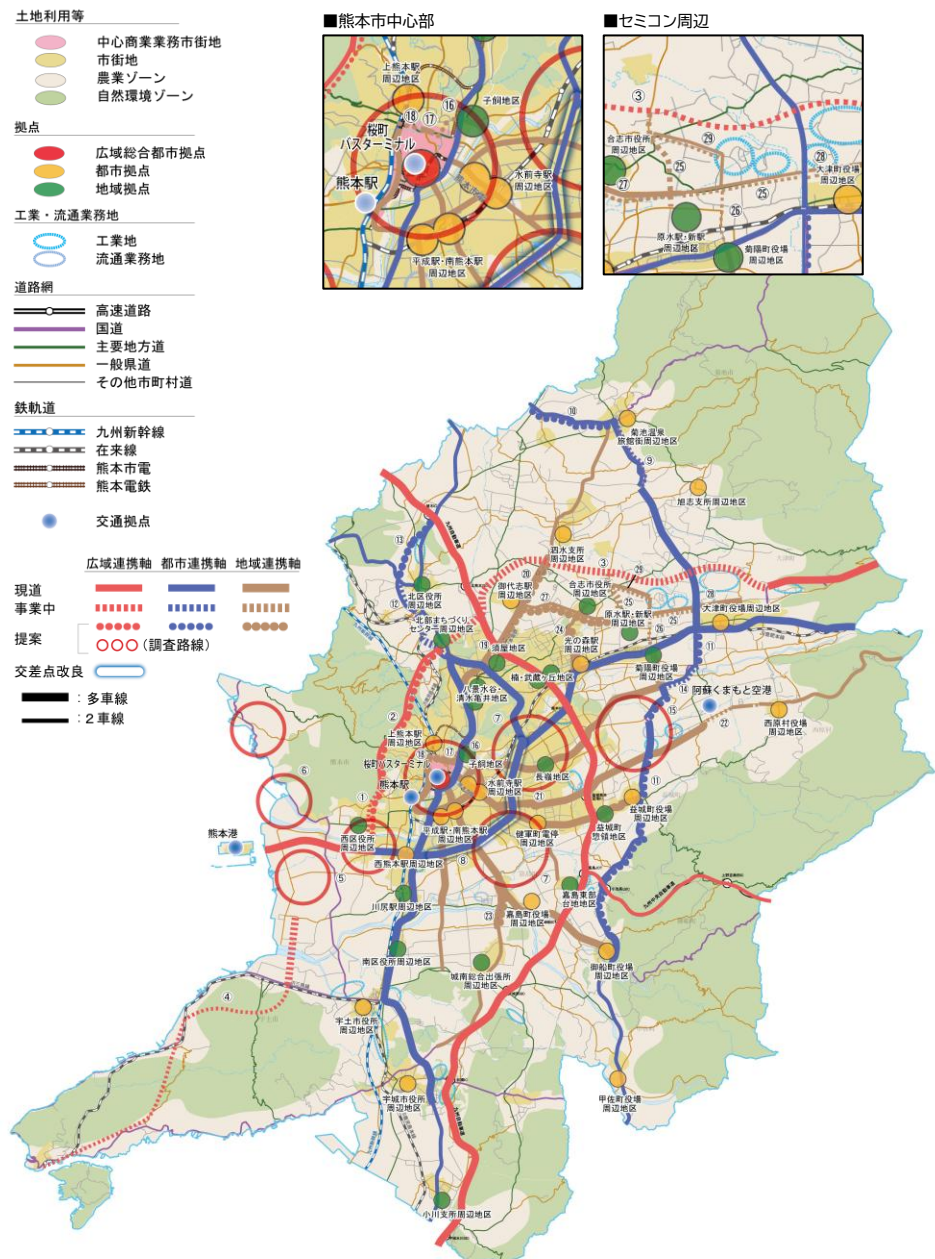
- 将来の交通体系の実現に向けた提案施策は以下のとおりです。
- 道路の整備に関するプログラムや地域公共交通計画など個別の実行計画との整合を図りつつ、都市圏総合交通戦略において実施主体や時期等を整理した上で実施施策として位置付けます。
- 具体的に事業を検討する段階では、事業費や効果などの経済効率性等を確認しながら、関係者が一体となって実現に向けて取り組みます。

強化方針	公共交通階層・方面	主な提案施策
機能強化	鉄軌道	③菊陽・大津 阿蘇くまもと空港アクセス鉄道 豊肥本線の増便・増結、行違ひ化、同時進入化、複線化 豊肥本線の新駅設置 (原水駅～三里木駅間、武蔵塚駅～竜田駅間)
		⑤益城・空港 市電延伸(東町線、健軍町～益城) ⑥嘉島 市電延伸(辛島～南熊本) ⑧田崎・城山 市電延伸(田崎橋～西区役所)
	幹線バス・ 接続バス	全方面 バスレーン【専用・優先】の整備 幹線バスの増便、増結【接続バス】 速達性を高める交通システムの構築 【公共交通優先信号(PGPS)】 利用促進に向けた料金施策【利用者の運賃負担軽減】 高規格道路などを活用した快速バス運行
		結節強化
連携強化	共通	全方面 ダイヤ調整【乗り継ぎ時間の短縮】 他の交通手段との結節強化 【駅前広場、バス停設置、パークアンドライド、サイクルアンドライドなど、モビリティハブ化など】
	幹線バス・ 接続バス	②合志・菊池 ③菊陽・大津 ③菊陽・大津 拠点アクセス【BRT】 (御代志駅と北東部地域のアクセス) 拠点アクセス【セミンアクセスバス】 (原水駅・菊陽町新駅・肥後大津駅) ⑤益城・空港 拠点アクセス【空港アクセスバス】 (西原村～空港～益城町)
		⑥嘉島 直通バス運行(桜町 BT～南熊本)
	フィーダーバス・ コミュニティ交通	全方面 フィーダーバス 【鉄軌道の駅・電停、主要バス停へのアクセス強化】 コミュニティバス・デマンドバスなどの連携強化
共通	全方面 交通の分散【時差出勤・交通手段の変更】 MaaS【公共交通機関やタクシー、カーシェア、シェアサイクルなどの多様な移動サービスをまとめて検索・予約・決済できるサービス】	
土地利用 との連携	共通	全方面 都市機能の誘導、居住の誘導【立地適正化計画との連携強化】
持続可能な 公共交通の 確保	共通	全方面 投資による輸送力の強化 【幹線バスの利便性向上に向けた公的支援、 運転士などの人材確保及び待遇改善に関する支援】 運営体制などの整備 【運輸・交通連合の創設に向けた制度設計の推進、 複数の交通モードの運行情報を一元的に提供】 交通資源の最高効率での活用 【交通モード間における資源の共有・再配置】

※図に記載のネットワークの実現にあたっては詳細な検討が必要です。

熊本都市圏都市交通マスタープランの検討状況について

■道路網計画図



■主な提案施策

- 将来の交通体系の実現に向けた提案施策は以下のとおりです。
- 道路の整備に関するプログラムや地域公共交通計画など個別の実行計画との整合を図りつつ、都市圏総合交通戦略において実施主体や時期等を整理した上で実施施策として位置付けます。
- 具体的に事業を検討する段階では、事業費や効果などの経済効率性等を確認しながら、関係者が一体となって実現に向けて取り組みます。

強化方針	道路階層・機能	主な提案施策			
都市間の 連絡強化	広域連携軸	外環状道路	① 熊本西環状道路(砂原工区)の整備 ② 熊本西環状道路(4車線化)の整備		
		放射道路	③ 中九州横断道路(大津道路、大津熊本道路、熊本環状連絡道路)の整備 ④ 熊本天草幹線道路(熊本宇土道路、宇土道路、宇土三角道路)の整備 ⑤ 熊本天草幹線道路の整備 ⑥ 有明海沿岸道路の整備		
	その他	⑦ 熊本都市圏北連絡道路・熊本都市圏南連絡道路 熊本空港連絡道路の整備			
	都市連携軸	外環状道路	⑧ 国道57号の主要交差点の立体化		
		大外環状道路	⑨ 国道325号(菊池拡幅)の整備 ⑩ 国道325号(4車線化)の整備 ⑪ 国道443号(4車線化)の整備		
		放射道路	⑫ 国道3号(植木バイパス2・3工区)の整備 ⑬ 国道3号(植木バイパス1区)の整備		
その他		⑭ 国道443号(空港北拡幅)の整備 ⑮ 国道443号(4車線化)の整備			
拠点間の 連携強化		内環状道路	⑯ (都)坪井龍田陳内の整備 ⑰ (都)手取本町坪井線の整備 ⑱ (都)池田町花園線の整備		
	地域連携軸	放射道路	⑲ 国道387号(須屋工区)の整備 ⑳ 国道387号(4車線化)の整備 ㉑ (主)熊本益城大津線の自衛隊前交差点のクランク解消 ㉒ (一)堂園小森線(小谷工区、布田工区)の整備 ㉓ 国道266号の改良 ㉔ (一)住吉熊本線(多車線化)の整備		
		共通	交差点改良(環状・放射道路)	環状道路や放射道路などの骨格をなす道路での主要交差点の改良(右折レーンの設置・延伸、立体交差など)	
		地域連携軸	セミコン関連	㉕ (主)大津植木線(福原工区、原水工区)の整備	
				㉖ (一)新山原水線(原水工区、原水2工区)の整備	
				㉗ (一)大津西合志線(4車線化)の整備	
				㉘ (都)三吉原北出口線の整備	
				㉙ (都)竹迫第二テクノ線の整備 など	
		交通の 円滑化	共通	都市計画道路の整備	未着手の都市計画道路の整備
				交差点改良(主要交差点)	渋滞交差点などの主要交差点の改良(右折レーンの設置・延伸、信号制御の最適化、立体交差)
				交通の分散	時差出勤・交通手段の変更
経路の分散	ルートマネジメント(既存インフラの活用：西環状道路利用への誘導)				

※図に記載のネットワークの実現にあたっては詳細な検討が必要です。